



兵庫県青年洋上大学同窓会名誉会長

兵庫県知事 齋藤元彦



兵庫県青年洋上大学同窓会の発足から50年。半世紀にわたるご尽力に敬意を表すとともに、心から祝い申し上げます。

兵庫県青年洋上大学は、昭和46年に初めて神戸港を出航しました。以来、時代とともに形を変えながら、1万人を超える青年が海を渡り、延べ200以上の国・地域と交流を重ねてきました。様々な価値観に触れ、仲間と友情を育む。その経験は、何ものにも代えがたい財産です。

同窓会は、こうした経験を地域の発展に活かそうと、洋大生OB・OG有志により創立されました。研修の企画、指導をはじめ、青少年の育成、国際交流の促進など様々な活動に取り組んでいただいています。

新型コロナウイルスの影響により、青年洋上大学は令和元年のベトナム訪問以降、残念ながら中止せざるを得ない状況ですが、こうした中でも、同窓会の皆様は、定例会や体験教室など草の根の交流を継続しておられます。改めて、深く感謝します。

コロナ禍にウクライナ情勢。困難な時代を切り拓くのは、幅広い視野と、たくましく、しなやかな「こころ」をもつ若者たちです。私たちは、若者たちがそれぞれの人生の航路を切り拓くため、果敢に挑戦できる社会をつくりあげていかなければなりません。これからも、兵庫から世界へと飛躍する青少年の育成に、お力添えを賜りますようよろしくお願い致します。

今年、沖繩県の本土復帰50周年です。同窓会では、本土復帰目前の昭和47年以来、沖繩との友愛を育んできました。そうした縁から、同窓会の50周年記念事業として兵庫県内に加え、沖繩県で交流事業を開催する予定です。長年にわたり培われた国内外の交流が、これからも大きな花を咲かせることを願っています。最後に、兵庫県青年洋上大学同窓会のご発展と皆様の健康勝を心からお祈りします。

発行所
兵庫県青年洋上大学同窓会
〒650-0011
神戸市中央区下山手通4-16-3
兵庫県民会館7階
TEL&FAX:078-891-7419
URL :http://hyogo-yodai.net/
E-MAIL :info@hyogo-yodai.net
発行人：大家 重明

同窓会設立五十周年を迎えて

会長 大家重明



皆さん、いかがお過ごしですか。平素は、兵庫県青年洋上大学同窓会の活動に、ご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。私達の洋大同窓会は、本年5月28日設立50周年を迎えました。

昭和47年に、洋大で学んだ「こころ」を土台に、参加した仲間が事後活動の場として会を設立。洋大と共に歩んできた同窓会は、社会ニーズの変化する中で数々の変遷を経て今を迎えています。

現在、活動は、県内7



また次に繋がる場になればと思います。

同窓会では、50周年にあたり皆さんが集い共に祝い、また交流出来る場づくりの内容検討を行って参りました。

そこで、コロナ禍でありませんが今出来ることとして、本年9月に「兵庫県立いえしま自然体験センター」を会場とした記念事業を、11月に「ルミナス神戸II」に乗船し、船内にて記念式典を開催することとなりました。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

先人が築き上げて来られた半世紀に及ぶその歴史を振り返り、同じ経験をした仲間として、この50周年を迎えられることに感謝し、長い歴史の中で培った経験をもとに、皆さんと共に原点を振り返り、今後の同窓会の姿を考えながら、その仲間が大きな輪となるよう、また、大人の団体として地域の担い手として、共に頑張っていきたいと思

います。まずは、50周年記念事業、記念式典でお会いしましょう。明日に向かって益々のご支援・ご協力をお願いいたします。

えにし 縁

僕が、洋大に参加したきっかけは、母親からの提案でした。ちょうどその頃、仕事で独立した手くいつて無かったこともあり気分転換に参加してみようと思いました。

参加すると、社会人、学生と色々な方がいて、色々な出会いがあり、船上ではゼミとかいろいろ活動が有ったり、中国に上陸してからは中国の学生さんと交流したりと楽しい事ばかりでした。

参加する前は興味無かった同窓会ですが、降りてから一度顔を出してみると雰囲気がよく参加しやすかったです。それから、色々な活動に参加し、色々経験していく中で自分のスキルも、上がった気がします。色々な方との出会いもあり、凄く楽しくて20年以上たった今でも楽しく活動しています。これからも、様々な活動を続けていきたいと思

います。原健作(近21西播磨) ※次回は山本達也さん(兵29西播磨)です。

第1回地区代表者会報告

令和4年度 役員・顧問

会長	大家重明	(兵5)
副会長	村上友江	(兵6)
副会長	中川たみ子	(兵18)
副会長	松井豊仁	(塾2)
会計長	芦谷恒憲	(近11)
事務局長	新庄和文	(兵17)
神戸地区代表	大西 円	(兵29)
阪神地区代表	井上清吉	(兵26)
東播磨地区代表	大加茂健二	(兵29)
西播磨地区代表	長谷川和久	(兵32)
但馬地区代表	村上隆司	(兵25)
丹波地区代表	方山 薫	(勤4)
淡路地区代表	土井貴司	(兵32)
沖縄地区代表	國吉眞哲	(兵6)
監事	春名伸泰	(近11)
監事	重金昭雄	青少年本部
顧問	高橋守雄	(兵1)
顧問	板橋利喜造	(兵2)
顧問	山下剛史	(近11)
顧問	富永千世	(兵19)

令和3年度決算

(単位：円)

【収入の部】	
会費収入	286,000
事業収入	508,297
補助金収入	2,044,036
雑収入	26,067
引当金	864,181
計	3,728,581
【支出の部】	
基本事業	2,643,334
国際事業	23,100
青少年事業	515,790
社会貢献事業	0
引当金	546,357
計	3,728,581

令和4年度予算

(単位：円)

【収入の部】	
会費収入	340,000
事業収入	2,400,000
補助金収入	1,916,700
雑収入	12,000
引当金	1,846,357
計	6,515,057
【支出の部】	
基本事業	3,426,000
国際事業	80,300
青少年事業	2,786,000
社会貢献事業	0
引当金	222,757
計	6,515,057

令和3年度事業報告

月日	内容	場所
4月24日	第1回地区代表者会	神戸市(県民会館)
5月23日	新緑のつどい	神戸市(県民会館)
7月10・11日	但馬地区セルカバ	香住町
10月16日	第2回地区代表者会	神戸市(県民会館)
11月28日	日帰り型体感教室(科学工作)	
12月5日	クリスマスアレンジ教室【神戸地区】	神戸市垂水区
1月16日	新春のつどい	神戸市(県民会館)
2月27日	西播磨地区事業	
3月5日	日帰り型体感教室(いちご摘み)	神戸市北区周辺
3月26・27日	宿泊型体感教室	姫路市(いえしま自然体験センター)

令和4年度事業計画

月日	内容	場所
4月17日	第1回地区代表者会	神戸市(県民会館)
7月14～20日	洋大展【但馬地区】	豊岡市(県立但馬文教府)
9月24・25日	50周年記念事業	姫路市(いえしま自然体験センター)
10月15・16日	第2回地区代表者会	西播磨地区
11月6日	50周年記念式典	神戸市(ルミネナス神戸2)
11月20日	神戸マラソン	神戸市
12月4日	クリスマスアレンジ教室【神戸地区】	神戸市垂水区
1月15日	新春のつどい	神戸市(県民会館)
2月17～19日	50周年記念事業(沖縄交流)	沖縄県
3月5日	日帰り型体感教室	神戸市北区周辺
3月11日	街歩き【阪神地区】	阪神地区
3月25・26日	日帰り型又は宿泊型体感教室	未定

※上記計画は、変更される場合があります。

第1回地区代表者会が4月17日(日) 県民会館7階青少年プラザで開催されました。本部役員7名、地区代表者7名と顧問4名、青少年本部から2名の参加をいただきました。

参加者の自己紹介後、2021年度の事業(活動)・決算報告、2022年度の事業計画・予算が審議承認されました。また、50周年事業実施に伴う前年度からの検討事項である4つの柱も承認されました。①記念事業②記念式典③洋大展 魅力・想いを発信)④広報情報

提供の推進これらについて詳細な企画案を早急に審議し、5月以降の実行体制へと確実に進めていくことになりました。最後に、会長が力強く以下のように話され閉会しました。「洋大50周年を多くの会員と共に祝う！参加しやすい事業をめざします。」

昭和47年秋、当時の坂井知事、県青少年局長大担当者を含めた約30名が集まり、近況報告、親睦を行ったのがおやじ会の始まりです。その後、毎年開催し続け、80数名の参加者で県民会館会場もパンク状態の時も。いつの頃からか私が実行部隊長として今日まで続けています。

残念ながらコロナによる三密制限により暫く休会となりましたが、昨年12月4日、感染対策をし、3年ぶりに開催できました。笑顔、笑顔でグータッチ、食事タイムと参列者全員の近況報告、おやじバンドと共に全員で歌唱、恒例大抽選会など、あつという間の3時間でした。

ともに祝う

おやじ会



本年はおやじ会も同窓



板橋利喜造(兵2阪神)

同窓会員なら回生、地域、年齢に関係なく誰でも参加できます。老いも若きも、おやじ会カップル、家庭ぐるみ、三世交代流メンバーも。是非ともあなたのご参加をお待ちしています。

洋大バンザイ！

おやじ会バンザイ！

西播磨

瀬戸内の春の味覚を味わう

2月27日(日)、西播磨地区事業として、牡蠣を食す事業(第4弾)を行いました。新型コロナウイルスの影響(まん延防止等重点措置)



が出ていた状況でしたが参加人数を少なくし、感染症対策(検温・消毒・マスクの着用)を行ったうえで実施しました。メインの昼食は、いつ



もお世話になっておられる牡蠣料理で、黙食となりましたが、焼き、フライ、酢味、ごはん、汁ものを堪能できる内容でした。

普段、牡蠣は11月から4月の春先に味わうものであり、西播磨地域ではよく口にするものです。瀬戸内海沿岸(姫路市の網干地域からたつの市(室津)、相生、赤穂)は、牡蠣の生産が多く、時期になると、それを求める人で賑わいます。その後、姫路市立水族館へ移動し、施設を見学しました。ここでは様々

な海洋生物の見学ができるほか、かつて姫路駅から手柄駅までを結んだ姫路モノレール線の車両展示もあり、その歴史を学ぶこともできました。

ここは、近隣の小学生の社会科見学にも利用されており、姫路城と合わせて訪問する場所でした。個人的には数十年ぶりに訪れその記憶が甦りました。

また、以前まで周辺には手柄山遊園地があり、ジェットコースターや観覧車の遊具があり、夏はプールが開放され、多くの家族連れで賑わっていました。

また、同窓会では、事業の様子を動画として活用することを進めており、以前学んだ1分間動画を試すこともできました。長谷川和久(兵32西播磨)

YouTubeにてライブ配信

新春のつどい

去る1月16日(日)、新春のつどい2022が県民会館11階・パルテホールにて開催されました。今年の新春のつどいは、コロナ禍の状況を踏まえ、史上初めてYouTubeでのライブ配信方式にて開催しました。

昨年5月の新緑のつどいでもYouTubeにて配信を行いました。ライブ配信となり、初めての試みとなり、試行錯誤の連続で開会時刻直前に

に調整は続きました。いざ開会すると、特に大きな問題も発生せず、無事につどいを終える事ができました。



開会後は大家会長からのご挨拶に続き、会場にお越しただく事は叶いませんでしたが、新たに名譽会長となられました齋藤知事からのご挨拶を頂戴しました。



神戸

手作りを楽しもう!

12月5日(日)に神戸市垂水区内で、クリスマス飾りと令和4年のカレンダー

を講師の方に、アレンジメントを講義してアレンジメントの作り方を教わりながら



ら、手作りを楽しむ教室を開催しました。会場最寄りのJRの駅に集合して、会場までは車で移動してからの始まりです。今回は生の木と花と松ぼっくりや木の葉を使って、直径30センチほどのアレンジメントを楽しみました。仕上げには、ロウソクやリボン、白いパウダー状の液体が出るスプレーを吹きかけて、ホワイト・クリスマスアレンジメントの完成です。

12月の開催と言う事もあり、令和4年のカレンダーを、先生が用意してくださった押し花等を使ってアレンジしました。簡単な作業に見えましたが、押し花の種類が多く、生の花から押し花にする過程も努力が必要だそうで、赤色などの鮮やかな色を残す事が一番苦労される所だそうです。押し花になってからも鮮やかな色を持続させるのが難しいと教わりました。

どの押し花を使えばいいのか何処に置くか良いのかを迷ってしまい、花の数が多すぎても少なすぎてもキレイに見えないそうで、なかなかどの花にするのか決める事が出来ず難しかったです。今回のアレンジメントを教えてくださった先生は、日本フラワーデザイナー協会の講師もされており、世界大会にも出ておられる方です。個人的な教室をされていて会話も楽しく、気づけば3時間近くが経っていました。制作後にはお茶やお菓子を食べながら、感想や近況報告を話す事が出来、お土産には自分の作品を持って帰ってもらえました。



今年同窓会が設立されて50周年という、大きな節目に当たる一年です。未だに続くコロナ禍で同窓会の活動も制限を余儀なくされてきましたが、11月の記念式典に向けて、一心を新たにしたい1日となりました。大加茂健二(兵29東播磨)

イベント情報

最新の情報は、同窓会HPをご覧ください

【問合せ先】

本部事務局 : info@hyogo-yodai.net

神戸地区 : kobe@hyogo-yodai.net

但馬地区 : tajima@hyogo-yodai.net

洋大バネル展

三伯馬

洋大50年の全航路を二挙に展示します。

▼日時：7月15日(金)

19日(火) 9時～17時

▼会場：県立但馬文教府

文教府ギャラリー(豊岡市妙楽寺41の1)

泥んこキッズ

スタンプ募集

▼日時：7月31日(日)

▼会場：フルーツフラワ

ーパーク前の転作水田

▼募集：スタンプ5名

▼内容：どろんこバレー会場

の小戸へのレクリエーシ

ョン提供

五十周年記念事業

三ついえしま

同窓会設立50周年を記

念して会員、家族等の参加で宿泊型の事業を開催します。

▼日時：9月24日(土)

25日(日)▼会場：県

立いえしま自然体験セン

ター(旧母と子の島)▼

募集：25組▼詳細は募集

要項を参照

五十周年記念式典

同窓会設立50周年を記念して記念式典を開催します。

▼日時：11月6日(日)

▼会場：ルミナス神戸II

(カリブ)▼募集：10

0名▼詳細は募集要項を

参照

神戸マラソン

ボランティア

2年ぶりの開催(第10

回神戸マラソン)へ給水

ボランティアとして参加

します。

▼日時：11月20日(日)

▼会場：(担当会場予定)

第1給水所▼募集：60名

▼募集は9月から。

クリスマス

アレンジ教室

講師の方に材料を用意

していただき、クリスマス

飾りを手作りします。

▼日時：12月4日(日)

13時～15時▼会場：神

戸市垂水区内▼参加費：未

定▼詳細は神戸地区迄

同窓会活動への支援に感謝

同窓会では、活動をより充実したものにすため、皆様からの寄付を受け付けております。関心をお持ちの方がございましたら、ご連絡ください。

ここで、令和3年度にご寄付いただきました皆様のお名前を順不同で紹介させていただきます。(敬称略)

- 赤穂 敏夫 (兵1)
- 芦谷 恒憲 (近11)
- 足立 幸広 (近8)
- 飯田 登代子 (兵1)
- 家島 見枝 (兵30)

- 石角 礼子 (近17)
- 位田 八恵 (兵8)
- 一井 正彦 (近2)
- 井塚 真知子 (兵3)
- 伊藤 正憲 (兵2)
- 井上 祥一 (勤4)
- 今岡 知子 (兵6)
- 岩崎 英俊 (兵30)
- 魚井 利勝 (兵2)
- 大砂 彰 (勤1)
- 鴻谷 満子 (兵2)
- 岡田 敏寛 (兵1)
- 荻野 一美 (兵1)
- 桂木 聡子 (兵20)
- 北山 弘義 (近6)
- 久保 恭利 (兵1)
- 小東 清治 (兵5)
- 近藤 和仁 (近5)
- 坂田 忠三 (兵3)

- 坂本 好也 (賛助)
- 軸原 博文 (兵19)
- 繁田 浩 (勤1)
- 清水 学 (兵2)
- 菅 三千代 (兵21)
- 砂川 信雄 (兵15)
- 高島 昇 (兵4)
- 高橋 守昭 (兵20)
- 高橋 守雄 (兵1)
- 竹内 裕文 (勤1)
- 武田 政義 (近18)
- 田村 暢一 (兵31)
- 時里 敬三 (兵26)
- 富永 千廣 (兵3)
- 中野 新太郎 (兵4)
- 中野 泰子 (兵4)
- 中畑 庸一 (兵9)
- 永廣 友紀 (兵26)
- 橋本 清行 (兵2)

- 浜田 芳人 (兵4)
- 原田 和之 (近1)
- 原田 哲也 (兵9)
- 平崎 有子 (勤3)
- 平田 耕作 (兵3)
- 宝来 和行 (兵4)
- 松尾 政幸 (兵8)
- 松永 千香 (兵18)
- 松本 順子 (兵5)
- 三尾 功 (兵2)
- 宮城 悦子 (兵5)
- 毛利 保女 (兵4)
- 森本 吉治 (兵5)
- 矢野 龍太 (兵5)
- 山口 憲廉 (兵2)
- 吉田 久美 (兵5)
- 由本 勇人 (兵17)
- 宮艸 真木 (勤1)
- 長濱 秀範 (兵3)

兵庫県功労賞に高橋さん、大家さんダブル受賞

2022年の兵庫県功労者の表彰式が県公館にて5月18日に行われ、同窓会から高橋さん(兵1神戸)、大家さん(兵5神戸)両氏が、受賞されました。高橋さんは県内外の被災地復興への貢献が評価され「防災功労」を、大家さんは「青少年育成功労」を、それぞれ受賞されています。お二人とも、おめでとうございます！

<http://hyogo-yodai.net/>

同窓会のホームページでは、事業の案内・報告など最新の情報を随時更新しています。また、Facebook、YouTubeにも随時、情報をアップしています。

ぜひ一度、下記のQRコードからアクセスし、のぞいてみてください。また、ホームページ等へ掲載して欲しい情報も募集中です。 info@hyogo-yodai.netまでご連絡ください。



YouTube



Facebook



ホームページ

編集後記

今年、同窓会設立50周年を迎えた。50年前の1972年とは、どうな年だったのだろうか。ネットで見つけた。1月グアムで横井正一さん発見。2月札幌オリスンピック。3月山陽新幹線新大阪駅・岡山駅開業。5月沖縄返還。7月太陽にほえる放送開始。9月日中国交正常化。10月巨人V8。

やはり5月の沖縄返還が目につく。同窓会と同じく、今年には沖縄返還50周年。かつて、沖縄から洋大に学生が参加していた時期もあり、同窓会の歴史は沖縄との交友交流の歴史でもある。暫く交流が途絶えていた時期もあったが、平成27年の沖縄戦当時の知事島田叡氏の顕彰碑の除幕式をきっかけに再会、平成30年には沖縄地区が復活。

コロナ禍により2年ほど往来が途絶えているが、50周年を機に是非、沖縄の仲間と再会したい。海の青さに空の青。沖縄そばにタコライス！そしてオリオンビールに泡盛！仲間と一緒に乾杯！

山下剛史(近11神戸)

第1回

兵庫県青年洋上大学と洋上大学同窓会のこれまでとこれから

—洋上大学同窓会設立50周年によせて—

兵庫県青年洋上大学同窓会 設立発起人 高橋守雄（兵1回）

プロローグ

よーソロ！！
面舵一杯！！

空はどこまでも澄み渡り青い、そして海の色は紺碧に輝き時々白い波が立つほかどこまでも何も見えない、ただ水平線が地球の丸いことを教えてくれるように遠く見えるだけである。

その大海原を400余名の青年を乗せ、イギリス船籍の「コーラルプリンセス号」は南の島をめざす。その先には未知の国がある。

船上では若者達と肩を組みながら坂井時忠学長（第40代兵庫県知事は、壮大なロマンと熱き思いを青年達に語っていた。

「この船上に集う君たち、ここに400名の仲間がいる、志を共にする友とのふれあいの中で友情を温め、情熱を傾け、共に研鑽し、自分を見つめ人としての生き方をさぐる。そこに限りない人生へのこのころの広がりが見られるに違いない。この旅は自己実現のための絶好の機会である。共に学ぼうではないか。」
1971年(昭和46年)

九月、兵庫県青年洋上大学の幕開けである。

500名近い若者と一緒に集め、そしてなによりも大型客船をチャーターし、約1ヶ月間、共に学び、見知らぬ海外の土地を訪ね、言葉も通じない現地の若者と語り合い交流する。そしてそこで学んだことを、地域で、あるいは職場で実践する。その形は自由でさまざまである。

坂井時忠学長は第1回兵庫県青年洋上大学の終了式でこう言った。

「私たちは、私たちのふるさとである“自然”の海を知った。人類文化に欠くことのない民族交流の広場である海を実感した。今まで知らなかった若者達と共に汗を流し、手を握り合い、肩を抱き合った。人間愛は人とし

の成長を求める仲間から生まれ、心と心のふれあいで育つことを知った。その仲間意識をいつまでも持ち続けてほしい。いま、君たちは、霜や雪にもめげず青々と伸びる麦の芽のように、また踏まれても、踏まれてもくじけない雑草のように、すくすくとたくましく成長している。今後地域で、あるいは職場での様々な活動をしてくれることを期待している。」
こうして始まった「兵庫県青年洋上大学」、今



記念の第1回青年洋上大学の出航

「私たちが、私たちのふるさとである“自然”の海を知った。人類文化に欠くことのない民族交流の広場である海を実感した。今まで知らなかった若者達と共に汗を流し、手を握り合い、肩を抱き合った。人間愛は人としての豊かさを感じてきた。今、君たちは、霜や雪にもめげず青々と伸びる麦の芽のように、また踏まれても、踏まれてもくじけない雑草のように、すくすくとたくましく成長している。今後地域で、あるいは職場での様々な活動をしてくれることを期待している。」
こうして始まった「兵庫県青年洋上大学」、今

「私たちが、私たちのふるさとである“自然”の海を知った。人類文化に欠くことのない民族交流の広場である海を実感した。今まで知らなかった若者達と共に汗を流し、手を握り合い、肩を抱き合った。人間愛は人としての豊かさを感じてきた。今、君たちは、霜や雪にもめげず青々と伸びる麦の芽のように、また踏まれても、踏まれてもくじけない雑草のように、すくすくとたくましく成長している。今後地域で、あるいは職場での様々な活動をしてくれることを期待している。」
こうして始まった「兵庫県青年洋上大学」、今

「私たちが、私たちのふるさとである“自然”の海を知った。人類文化に欠くことのない民族交流の広場である海を実感した。今まで知らなかった若者達と共に汗を流し、手を握り合い、肩を抱き合った。人間愛は人としての豊かさを感じてきた。今、君たちは、霜や雪にもめげず青々と伸びる麦の芽のように、また踏まれても、踏まれてもくじけない雑草のように、すくすくとたくましく成長している。今後地域で、あるいは職場での様々な活動をしてくれることを期待している。」
こうして始まった「兵庫県青年洋上大学」、今

るを持てるようになって欲しい、それがこの大学の発案者である坂井時忠知事の大きな願いであり、望みであった。そしてこの洋大のテーマを「こころ」と決めた。

坂井時忠知事の思い「こころ」はその後、貝原俊民知事の「こころ豊かな人づくり」、井戸敏三知事の「未来への期待、齋藤元彦知事の「躍動する兵庫」へと50年を経た今日も脈々と続けられている。

それは、未来を担う青年達の心身共の豊かな成長を促す。以下、青年洋上大学の歩んできた道筋をおつてみる。

「太陽の子」、「南水北調のロマン」、「緑の若木」、「涼花」、「大洋の子」の言葉を贈られ、その年の報告書のタイトルとして使われるとともに参加学生の強い絆となつていく。



401粒の麦 坂井学長を囲む学生達

401粒の麦

6千海里、訪問4カ国、23日間にわたる「第1回兵庫県青年洋上大学」初の航海は大成功のうちに終わった。そして閉学式で坂井学長が学生一人一人をなぞらえた「二粒の麦」はさわやかに秋風に乘つて、ふるさとへ散つていった。胸一杯に「ほんもののおみやげ」をもつて。

第1回生に「401粒の麦」という言葉を贈つた以後、坂井学長は毎回、学生に「雑草のように」、「わかたけ」、「地の塩」、「若獅子」、「えにし」、「太陽の子」、「南水北調のロマン」、「緑の若木」、「涼花」、「大洋の子」の言葉を贈られ、その年の報告書のタイトルとして使われるとともに参加学生の強い絆となつていく。



学長から贈られた言葉をタイトルにした報告書

(次号へつづく)

春のいえしま体感教室！

3月26日(土) 15時～27日(日)の2日間、参加8家族(大人14名、子ども11名)とスタッフ9名の総勢34名で「春のいえしま体感教室」を実施しました。

今回は「いえしま冒険隊」と称し、海賊・漁師・村人に扮したスタッフが準備したゲームに参加者(冒険隊)が挑戦するという企画でした。

1日目、冒険隊の乗っ



た船は春の大嵐の中を航しました。その日の他の便は全て欠航になったそうです。船酔いにも耐え、やっとの思いでいえしま自然体験センターにたどりついた冒険隊は、おいしい昼食で元気を取り戻し、風雨にも負けず元気に活動しました。夕食は家族単位で炭をおこしてのバーベキュー、自分で火を起こしての肉の味は格別だったことでは

よう。

2日目、前日の荒波がウソのような快晴で波は穏やかでした。冒険隊はシーカヤックやカヌーで海洋プログラムも満喫でき、スタンプラリーも全て実行することができました。新型コロナウイルス感染症予防対策バージョンでのプログラム実施となりましたが、その中でも元気がいっぱい体を動かすことができ、家族それぞれスタイルで楽しんでいただけたのではないかと思います。

ワクワク

「いちご摘み&工作体験」開催！

3月6日(日)さとやま体感教室「いちご摘み&工作体験」を神戸市北区大沢で開催しました。当日はお天気もよく、いちご摘み体験ではハウスの中で沢山実った2種類



のいちごを味比べしながら摘んで、お腹いっぱい食べました。午後は工作。当初はイチゴのデザート作りを考えていましたが、感染防止の観点から、工作に変

動も工夫して実施していく時期にきています。なお、取りやめたデザート作り代わりに、イチゴとチョコペンを持ち帰って頂き、ご自宅で作って頂いたイチゴデザートの写真を同窓会へ投稿して頂きました。井上清吉(兵26阪神)



リピーターの方から「毎年工夫をこらしたプログラム、今年も楽しませていただきました。次も楽しみにしています！」と、嬉しいお言葉もいただきました。同窓会の



活動に共感してほめていただけたことが大変嬉しく、次の企画の意欲につながりました。興味のある会員の皆様、ぜひ一緒にしましょう！三浦久美(近14神戸)

おやこ科学工作教室開催！

当初、8月に開催を予定し準備を進めて来ましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言により、11月28日(日)に開催しました。

「ひょうごスタイル」での開催のため、午前3組、午後1組の計4組12名(うち7歳～14歳の子ども7名)が、上橋智恵先生にご指導いただき、二足歩行ロボットを作りました。



午前の部は、スタッフ2名も参加者としてロボット作りを体験しましたが、なかなか本格的。工作しながら、この部分は、子ども一人に大人が必ず一人ついてお手伝いした方が良くないというポイントを見つけておき、でも子どもが「自分で完成させることができました！」



半日の短い間でしたが、参加者もスタッフも子ども心を爆発させ、一緒に楽しむことができた時間になりました。黒崎尚子(塾5東播磨)